

# 九州病害虫研究会 第 104 回研究発表会 プログラム

2025 年 2 月 6 日 (木)  
会場 熊本市国際交流会館  
(6 階ホールおよび 4 階第 1 会議室)  
〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4-18  
TEL: 096-359-2020

## 発表会場および進行予定

講演 12 分 (1 鈴 10 分, 2 鈴 12 分) 質疑 2 分 (終鈴 14 分)

	6階 ホール	4階 第3会議室
午前の部	虫害部会 No. 1 ~10	病害部会 No. 1 ~10
9:30 開始		
昼休み		
役員会 (4階 第1会議室 12:30~13:30)		
総 会 (6階ホール 13:35~14:05)		
午後の部	虫害部会 No. 11 ~19	病害部会 No. 11 ~13
14:15 開始		虫害部会 No. 20 ~24

## 九州病害虫研究会

(The Association for Plant Protection of Kyushu)  
HP <https://9byochu.sakura.ne.jp/main.html>

## 【講演にあたっての注意事項・その他】

1. 講演ファイルは必ず CD-ROM または DVD に書き込んでお持ち下さい。USB メモリは使用できませんのでご注意ください。パソコンは、予め会場に設置したものを用います。ご自身のパソコンは接続できませんのでご注意ください。
2. ファイル名は「‘虫害’または‘病害’ + 講演番号 (半角2ケタ) + 発表者名」として下さい。  
例1：虫害会場1番の発表の場合 虫害01村田.pptx  
例2：病害会場25番の発表の場合 病害25村田.ppt
3. 講演ファイルの受付は虫害・病害各会場で行いますので、午前・午後の開始前までにファイルの入ったCD-ROMまたはDVDを各会場のスライド受付担当にお渡し下さい。公演中は受け付けませんので、時間厳守でお願いします。
4. スライド映写用PCのOSはWindows11で、PowerPoint 2016をインストールしています。互換性の問題から図の配置や動画の再生環境が変更される可能性がありますので、講演ファイルをスライド映写用PCへコピーした後、動作確認をお願いします。
5. 講演要旨は本会ホームページ内に掲載しておりますので印刷してご持参下さい。

## 【講演要旨の内容確認と再提出について】

第104回研究発表会の講演要旨は、九州病害虫研究会報第71巻に掲載されます。発表者は講演要旨の内容、誤字脱字等を再度確認して下さい。特に、下記の点について確認・修正をお願いします。規定等が守られていない場合には、演題のみの掲載とします。

講演要旨の訂正が必要となった場合には、研究会終了後に訂正した講演要旨を編集幹事に再提出して下さい。再提出は電子メール添付ファイルとし、締め切りを2025年2月21日(金)とします。

【会場について】

受付は6階ホールロビーで9時頃より開始します。会場へは8時30分以降にお越しください。

ホール内はふた付きペットボトルお茶・水以外の持ち込みは禁止です。ホール外（1F エントランス・会議室等）は飲食可能です。

全館禁煙です。



# 虫害第1会場

会場：熊本市国際交流会館（6階ホール）

講演12分（1鈴10分、2鈴12分）、質疑2分（終鈴14分）

<午前の部>

9:30～12:00 ※9:25 事務連絡

講演番号/ 開始時間	タイトル
1 9:30	種類別のカラー粘着板による水稲のウンカ類の飛来及び発生状況の把握 ○本田善之・東浦祥光 (山口農総技セ)
2 9:45	水稲のウンカ類自動カウントシステムで用いる粘着板を複数持ち運ぶための U 字型フレームの作製 ○井手洋一・樋口桂子・森ひとみ・野口真由美・池田亜紀・古田明子 (佐賀農業セ)
3 10:00	「イネウンカ AI 自動カウントシステム」の飛来調査への応用 ○高田裕司・真田幸代 <sup>1)</sup> (長崎農技セ・ <sup>1)</sup> 農研機構植防)
4 10:15	水田のイネ収穫後における植生管理が天敵クモ類の密度に及ぼす影響 ○楠畑勇祐 (鹿児島農総セ)
5 10:30	世界自然遺産登録地周辺の水田における IBM の実現に向けて：八重山地域における研究計画と途中経過 ○大野 豪・城本（大野）啓子 <sup>1)</sup> (沖縄農研セ石垣・ <sup>1)</sup> 琉大熱生研西表)
6 10:45	チャイロコメノゴミムシダマシ( <i>Tenebrio molitor</i> )の産卵選択に及ぼす味覚の影響 ○浅井陸飛・龍田勝輔 <sup>1)</sup> (佐賀大院先進・ <sup>1)</sup> 佐賀大総分)
7 11:00	コクヌストモドキ( <i>Tribolium castaneum</i> )の産卵を誘起する化合物の検証 ○鶴嶋奏太・浅井陸飛 <sup>1)</sup> ・龍田勝輔 <sup>2)</sup> (佐賀大農・ <sup>1)</sup> 佐賀大院先進・ <sup>2)</sup> 佐賀大総分)
8 11:15	バレイショのドローン防除における大粒径薬液の防除効果 ○川本 旭 (長崎農技セ)
9 11:30	ダンゴムシによるアスパラガスの食害の確認と粘着トラップの有効性 ○古川晶啓・野口真由美・串崎明日香 <sup>1)</sup> ・古田明子・井手洋一 (佐賀農業セ・ <sup>1)</sup> 佐城振興セ)
10 11:45	アスパラガスでの 2 種カブリダニ類の導入によるハダニ類の防除効果とその他害虫の密度および収穫物への影響 ○吉村友加里・菅 康弘 (長崎農技セ)

----- 昼休み -----

役員会(4階 会議室1 12:30～13:30)

総会(6階ホール 13:35～14:05)

<午後の部>

14:15～ 17:00

講演番号/ 開始時間	タイトル
11 14:15	露地ナス圃場へのオクラの植栽はフタテンミドリヒメヨコバイの発生を助長するのか？ ○森本 遥・坂巻祥孝 (鹿児島大農)
12 14:30	ワタアブラムシが鹿児島県の伝統ナスに多発生する要因および影響 ○熊川湧太・坂巻祥孝 (鹿児島大農)
13 14:45	ハスモンヨトウ終齢幼虫の血中陽イオンによる摂食抑制効果 ○小田晴也・南川華衣・大塚悠河・龍田勝輔 <sup>1)</sup> (佐賀大院先進・ <sup>1)</sup> 佐賀大総分)
14 15:00	トマトキバガの各生育ステージにおける死滅温度の検討 竹原剛史・○黒木 尚 <sup>1)</sup> ・後藤 弘 <sup>1)</sup> ・中村正和 <sup>1)</sup> (児湯農林振興局・ <sup>1)</sup> 宮崎総農試)
15 15:15	熊本県におけるヒメコバチ科・コガネコバチ科土着寄生蜂のトマトキバガに対する寄生性 ○小松崎優・水谷信夫 (農研機構植防研)
16 15:30	夏秋トマト栽培におけるタバコカスミカメの密度抑制について ○平木 薫・伊藤玲央 <sup>1)</sup> ・津田裕樹・伊東拓真 <sup>1)</sup> ・山崎修一 (大分農林水研・ <sup>1)</sup> 大分地農課)
17 15:45	佐賀県の露地カンキツにおけるカイガラムシ類の発生時期の前進化 ○石丸晃成・池田亜紀 <sup>1)</sup> ・白石祥子・衛藤友紀 (佐賀果樹試・ <sup>1)</sup> 佐賀果樹試(現佐賀農業セ)
18 16:00	青色粘着板・忌避物質・気門封鎖剤を組み合わせたイチゴのアザミウマ類防除体系の効果確認について ○岩本哲弥・本田善之 (山口農総技セ)
19 16:15	長崎県のカーネション圃場から採集したナミハダニに対する各種薬剤の感受性 ○森 大智 (長崎農技セ)

# 病害会場

会場：熊本市国際交流会館（4階 第3会議室）

講演12分（1鈴10分、2鈴12分）、質疑2分（終鈴14分）

<午前の部>

9:30～12:00 ※9:25 事務連絡

講演番号/ 開始時間	タイトル
1 9:30	佐賀県におけるコムギ赤かび病の発生予察手法の検討 ○成富毅誌 (佐賀農技防セ)
2 9:45	メヒシバいもち病菌屋外越冬の可能性 ○佐藤 輝義・草場 基章 (佐賀大農)
3 10:00	鹿児島県のサツマイモ基腐病の定点圃場追跡調査と発生抑制要因について ○内村拓人・西八束・西菜穂子・尾川宜広 <sup>1)</sup> ・林川修二・稲森博行・関田俊治・濱上修作 <sup>2)</sup> ・ 神田梨華・上室剛・下津文宏 <sup>3)</sup> (鹿児島農総セ・ <sup>1)</sup> 現 鹿児島農総セ大島・ <sup>2)</sup> 現 鹿児島県農政課・ <sup>3)</sup> 鹿児島県大隅加工セ)
4 10:15	銅剤の特徴を活かしたサツマイモ基腐病に対する効果について ○本田傑・福元智博・窪田瑛水 <sup>1)</sup> ・福田健・上室剛・西岡一也 <sup>2)</sup> ・西八束 (鹿児島県農開セ・ <sup>1)</sup> 現 北薩地域振興局出水市駐在・ <sup>2)</sup> 現 鹿児島県大隅加工技術研究セ)
5 10:30	沖縄県における水稲とカンショの二毛作によるサツマイモ基腐病の防除（第2報） ○大城篤・田中洋貴 <sup>1)</sup> ・太郎良和彦 <sup>2)</sup> ・新崎泰史 <sup>1)</sup> ・下地格 <sup>1)</sup> ・秋田愛子 <sup>3)</sup> ・澤岨哲也・正田守 幸 (沖縄農研セ・ <sup>1)</sup> 沖縄農研セ名護・ <sup>2)</sup> 沖縄農研セ石垣・ <sup>3)</sup> 沖縄南部農業改良普及セ)
6 10:45	サツマイモ基腐病の発病ポテンシャル診断法の開発 ○関口博之・佐藤恵利華・川部眞登 <sup>1)</sup> ・野口（辻本）雅子・野見山孝司・越智 直・橋本秀一・中 村晃紳 <sup>1)</sup> ・中村正和 <sup>2)</sup> ・本田 傑 <sup>3)</sup> ・西 八束 <sup>3)</sup> ・吉田重信 (農研機構植防研・ <sup>1)</sup> 農研機構九州沖縄農研・ <sup>2)</sup> 宮崎県総合農業試験場・ <sup>3)</sup> 鹿児島県農業開発総 合センター)
7 11:00	現地圃場における土壌消毒後の堆肥施用によるサツマイモ基腐病防除効果の検証 ○中村晃紳・島武男・野口（辻本）雅子 <sup>1)</sup> ・佐藤恵利華 <sup>1)</sup> ・石井孝典 (農研機構九州沖縄農研・ <sup>1)</sup> 農研機構植防研)
8 11:15	サツマイモ茎根腐細菌病菌の生態及び有効薬剤の検討 ○加治佐光洋・久野公子・阿萬祐樹・溝邊 真・後藤 弘・中村正和 (宮崎総農試)
9 11:30	タマネギべと病菌の卵胞子から分離された <i>Vermispora</i> 属菌について ○山田桜子・藤田光莉・草場基章 (佐賀大農)
10 11:45	タマネギべと病二次感染に対するべと病専用剤と保護殺菌剤の混用による防除効果 ○近藤知弥・古田明子・井手洋一 (佐賀農業セ)

昼休み

役員会(4階 会議室1 12:30～13:30)  
総会(6階ホール 13:35～14:05)

<午後の部>

14:15~15:30

---

講演番号/ 開始時間	タイトル
11 14:15	イチゴ炭疽病の薬剤感受性を考慮した保護殺菌剤による防除体系 ○古田明子・井手洋一・近藤知弥 (佐賀農業セ)
12 14:30	佐賀県のナシ園における胴枯細菌病菌の検出状況 ○前田貢輝・児玉龍彦・衛藤友紀・近藤知弥 <sup>1)</sup> (佐賀果樹試・ <sup>1)</sup> 佐賀農業セ)
13 14:45	サトウキビ「はるのおうぎ」の栽培型の違いが2種さび病の発生および収量に及ぼす影響 ○湯田達也・上門隆洋 <sup>1)</sup> ・樽本祐助 <sup>2)</sup> ・梅田 周 <sup>2)</sup> ・大久保めぐみ <sup>2)</sup> ・大園賢志郎 <sup>3)</sup> ・尾川宜 広 (鹿児島農総セ大島・ <sup>1)</sup> 鹿児島農総セ熊毛・ <sup>2)</sup> 九州沖縄農研種子島拠点・ <sup>3)</sup> 鹿児島熊毛支庁)

---

## 虫害第2会場

会場：熊本市国際交流会館（4階 第3会議室）

講演12分（1鈴10分、2鈴12分）、質疑2分（終鈴14分）

<午後の部>

15:15～ 16:45

講演番号/ 開始時間	タイトル
20 15:15	キュウリのサツマイモネコブセンチュウに対する対抗植物の混植が卵のう数及び線虫密度に及ぼす影響 ○池田亜紀・成富毅誌 <sup>1)</sup> ・古田明子 (佐賀農業セ・ <sup>1)</sup> 佐賀農技防セ)
21 15:30	サツマイモネコブセンチュウ由来新規フェノールアミン受容体の機能解析 ○太田広人・亀田慶悟・安藤祥司・光増可奈子 <sup>1)</sup> (崇城大生物生命・ <sup>1)</sup> 尚綱大生活科学)
22 15:45	ユスリカに寄生するシヘンチュウの種類と寄生率の変化 ○當銘由薫・高下日花里・吉賀豊司 (佐賀大農)
23 16:00	菌食性タマバエ ( <i>Mycopila</i> sp.) の生殖モード変換条件の検討 ○小川雄大・徳田 誠・龍田勝輔 <sup>1)</sup> (佐賀大農・ <sup>1)</sup> 佐賀大総分)
24 16:15	日本産 <i>Synacra</i> 属 (ハチ目：ハエヤドリクロバチ科) の分類学的研究 ○河合諒人・三田敏治 <sup>1)</sup> (九大院生資環昆虫・ <sup>1)</sup> 九大院農昆虫)